

平成29年度 中小企業振興円卓会議事業提案書

【代表団体名称】	特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ
活動テーマ	ええ会社づくり ・ ええ人育て ・ ええお客づくり
活動名	女性の起業支援に関する推進・検証等活動 ～起業までの成長応援 なでしこドリームプロジェクト～
活動趣旨（本市の中小企業の現状、課題等）	<p>将来的に、生産年齢人口の減少により、更なる内需の減少が懸念される中で、地域の中小企業が成長を続けるためには、既存の内需を奪い合うのではなく、新たな内需を掘り起こすことが有用な取組となると考えられる。</p> <p>そこで、個人向けサービスへの需要が増加傾向にある中で、個人向けサービス分野で、需要を掘り起こしている女性の起業に着目し、女性起業予定者を対象とした起業推進の活動を通じて、女性の起業の現状及び課題について分析を行い、課題を乗り越えるために必要な支援策等を検証していく。</p> <p>女性の起業による新たなサービスの提供は、個人の生活を充実させるだけでなく、家事・育児を負担する女性が就業する際の課題解決につながり、女性の社会参加や更なる課題解決サービスの拡大という好循環をもたらす可能性がある。</p> <p>このような好循環が、女性の潜在能力を十分に発揮させ、新たな需要を掘り起こし、ひいては地域経済の発展に繋がっていくものと考えている。</p> <p>ライフスタイルに応じた多様な働き方の選択肢の一つとして起業を捉え、労働に関する知識や情報を得つつ、起業に至らずとも、再就職や学び直しの機会となっている。</p>
活動の項目	<p>条例の推進活動 条例第4条（基本方針）（1）「新たな事業活動の支援」（9）「関係機関との連携」に該当</p> <p>調査・検証活動</p>
活動内容（条例の推進活動、本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証等）	<p>【条例の推進活動】 「種を発芽させ、つぼみを花咲かせるまでのプロセスを支援」なでしこドリームプロジェクト3期</p> <ul style="list-style-type: none"> ★起業のおぼろげな思いを持ちながらも形にできずにいる人（女性）の掘り起こし ★基礎から支援（起業であっても、エンployアビリティ<雇用され得る能力>は必要） ★「起業マインドを育み」「実践力（提案する力、伝え届ける力）を身につける」ことをサポート。 ★新たな起業だけではなく、再就職や社内ベンチャーなど、その女性にあった道筋を見出し、女性の「働く」に結びつける。（離職防止になることもある） ★他の女性創業支援との違いは、 「起業だけでなく、再就職や転職にも必要なスキルを身に付けられる」 「仕事以外の時間制約（主婦業、子育てなど）との兼ね合いについてリアルに考えることができる」 「同様の悩みや方向性を考える方とのネットワークを持つことが出来る」という裾野の広さ <p><実施内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①女性の起業キックオフ公開講座（県外の講師を招致）定員100名規模 県外講師・・・出産を機に仕事を退職、専業主婦を経てパートに再就職、再就職した先でスキルを身に付け、会社を起すまでになった方 ②起業に向けての講座開催 <ul style="list-style-type: none"> ●種まきチーム（やりたいこと・形やアイデアを見つけ出し明確にするための講座）10名定員 ●つぼみチーム（形やアイデアを発展させるための講座）10名定員 ③各チームそれぞれ3回ずつ、講座を実施。また、県内起業経験者との交流。 ④講座を終えたのち、12月にメンタリングを実施（事業相談、仕事と生活の両立の相談も） ⑤つぼみチームはえひめリソースセンターの「SEED」を利用した公開プレゼン発表 種まきチームは、内部（講座参加者内）でのプレゼン発表 ⑥ ⑤のための、プレゼンテーションの実践講座（企画書や計画書の書き方、パワーポイントの使い方、話の仕方、を有償にして開催） ⑦参加者のネットワーク形成（SNSでの交流や自主的な交流会のなげかけ） <p>【調査・検証等活動】 1期、2期生のその後の検証。松山市の女性の求める働き方、起業の現状及び課題について分析を行い、課題を乗り越えるために必要な支援策等を調査・検証していく。</p>
構成メンバー（予定）	産業振興財団、ジョブカフェ愛work、未来jobまつやま、NPO法人えひめリソースセンター
事業期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
【事業に要する経費】	203万円
備考	